

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工業 項：商工業 目：工鉱業振興費

## 事業名 (公財) セラミックパーク美濃負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号:058-272-1111(内 3094)

E-mail:[c11355@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11355@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費	運営費負担金	20,193 千円 (前年度予算額:17,864 千円)
	自主企画事業負担金	3,624 千円 (前年度予算額:4,652 千円)
	計	23,817 千円 (前年度予算額:22,516 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,516	0	0	2,062	1,888	0	0	0	18,566
要求額	23,817	0	0	1,990	1,888	0	0	0	19,939
決定額	0	0	0	0	0	0		0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

陶磁器 (美濃焼) 産業は県の東濃西部地域に根付いた重要な地場産業であるが、ライフスタイルの変化による国内市場の縮小や海外廉価製品との価格競争の激化などにより苦戦を強いられており、県内の製造品出荷額における構成比を比較すると、約 20 年前 (H5:工業統計) には 12.3%であったものが、現在は 6.5% (R1) まで落ち込んでいるため、企業ビジネス改革や新たな販路の開拓など産業活性化が必須の課題となっており、その一環を担う拠点施設であるセラミックパークMINOの役割もますます重要性が増している。

### (2) 事業内容

美濃焼産業の振興、陶磁器文化の振興を目的に平成14年にオープンした拠点施設「セラミックパークMINO」の維持管理・運営及びセラミックパーク美濃を活用した美濃焼振興・地域振興事業 (自主企画事業) を推進するため、同施設の指定管理者である (公財) セラミックパーク美濃に対し維持管理、運営経費及び自主企画事業経費の一部を負担金として拠出。

## ■指定管理者の状況

- 指定管理者：(公財) セラミックパーク美濃（理事長：古川雅典／多治見市長）
- 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日
- 基本財産：10,000千円  
(出損比率)  
岐阜県 33.0%、多治見市 34.0%、土岐市 6.27%、瑞浪市 3.93%  
多治見市商工会議所 16.25%、土岐商工会議所 3.0%、瑞浪商工会議所 1.87%、笠原町商工会 0.54%
- 業務内容：「セラミックパークMINO」の現代陶芸美術館部分を除いた施設の管理運営及び財団事業（自主企画事業、催事誘致、貸館事業等）を行う。
- 経緯：
  - H10.4.30：「(仮称) 財団法人国際陶磁器テーマパーク設立準備委員会」が発足
  - H11.3.29：「財団法人セラミックパーク美濃」設立
  - H11年度～：出損比率に応じた財団運営費を負担
  - H14.10.12：セラミックパークMINOオープン
  - H18.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（財）セラミックパーク美濃を指定（3年間）
  - H21.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（財）セラミックパーク美濃を指定（3年間）
  - H24.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（財）セラミックパーク美濃を指定（3年間）
  - H25.4.1：（財）セラミックパーク美濃が公益財団法人へ移行
  - H27.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（公財）セラミックパーク美濃を指定（3年間）
  - H30.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（公財）セラミックパーク美濃を指定（3年間）
  - R3.4.1：セラミックパークMINOの指定管理者に（公財）セラミックパーク美濃を指定（5年間）

## (3) 県負担・補助率の考え方

### ○負担金の充当先

[施設の維持管理、運営関係]

- ・施設運営事業費（光熱水費、業務委託費等）、広報宣伝事業費、管理費（人件費、事務費）等

[自主企画事業関係]

- ・イベント開催費（人件費、委託料、会場使用料等）

○負担割合：岐阜県 33.0%、多治見市 51.93%、土岐市 9.27%、瑞浪市 5.80%

【令和3年度財団予算（案）】

財団団体の支出合計額 190,915 千円

うち行政負担充当額（県・3市） 128,408 千円

[行政負担金の算出根拠]

■運営負担金＝財団総支出合計－（貸館収入＋自主企画事業収入等）－美術館負担金等

■運営負担金

負担割合：岐阜県 33.0%、多治見市 51.93%、土岐市 9.27%、瑞浪市 5.80%

岐阜県（行政） 23,817 千円

運営負担金 20,193 千円（うち諸収入 3,878 千円）

自主企画事業負担金 3,624 千円

地元3市計（行政） 48,351 千円

運営負担金 40,996 千円

自主企画事業負担金 7,355 千円

■美術館負担金（岐阜県） 50,326 千円（環境生活部にて別途計上予定）

※美術館負担金＝施設維持管理経費（光熱水費、委託費、修繕費、燃料費等）の総額を面積案分

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内容

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	23,817	運営負担金 20,193 千円、自主企画事業負担金 3,624 千円
合計	23,817	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3] 海外展開・販路拡大支援プロジェクト

（2）国内におけるビジネスチャンスの提供

（2）後年度の財政負担

セラミックパークの施設運営等に要する必要最低限の経費のため毎年同額程度の経費負担が発生する見込み。

（3）事業主体及びその妥当性

美濃焼産業の中心地である東濃西部3市（多治見市、土岐市、瑞浪市）が中心となり当該事業をけん引しているが、美濃焼産業の振興は県の重要な施策でもあり事業主体の一員となることは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業  
 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国的にも珍しい陶磁器産業と文化の融合施設であるセラミックパークMINOを活用し、美濃焼はもとより、美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興を目指します。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
来館者数(単位:人)	(H )	250,259 (H29)	249,991 (H30)	184,556 (R1)	290,000 (R3)	63.6%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の成果）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

<令和元年度実績>

#### (1) 施設の維持管理

設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施してきた。

#### (2) 施設の運営・催事誘致活動

貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。

[来館者数の推移（現代陶芸美術館含む）]

H25年度 276,855人 H26年度 371,154人 H27年度 247,831人  
 H28年度 223,993人 H29年度 250,259人 H30年度 249,991人  
 R元年度 184,556人

※H26, H29は国際陶磁器フェスティバルの開催年

### (3) 自主企画事業

地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。

#### ① 『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】

美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」に掲載する作家の提案を行った。

・掲載アイテム：春夏版 4名9アイテム、秋冬版 4名10アイテム

#### ② 『陶芸作家展2019』【文化振興事業】

美濃を拠点に活動する陶芸作家の作品の展示販売を行った。

・開催期間：R元年5月2日～5月4日

・入場者数：4,966名 作品売上：11,515千円

・出展作家数：135名

#### ③ 『セラパーク楽々市』【地域振興事業】

多くの地元商店や住民の出店とともに、多くの来場者があった。

・年間開催回数：計10回（毎月第4日曜及びその前日の土曜日）

・出店者・社数：45社／月

・来場者数：1,300名／月

#### ④ 『青空マルシェ』【地域振興事業】

セラパークの賑わいづくりを目的とし、地元住民の集客に努めた。

・年間開催回数：計4回（セラパーク楽々市と同日開催）

※屋上タイル貼替工事等により開催回数が減少

・来場者数：400名／月

### (前年度の成果)

#### ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

<令和元年度実績>

- 適切に施設の維持管理、運営・催事誘致活動を行い、来場者増を図った。
- 来館者数は、屋上タイル張替工事等による貸館及び自主企画事業の停止、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による貸館予約のキャンセルや自主企画事業の中止等により、約18万5千人と前年度に比べ減少した。
- 貸館稼働率については、景気低迷の影響で経済界の動きが鈍くなっているものの、リピーターの確保や新規誘致の努力を続け稼働率を維持している。
- 今後は、利用促進協議会等で継続的にアイデアを募り、さらなる利用促進を図っていく。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
(評価) ○	セラミックパークMINOは、平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在、公益財団法人セラミックパーク美濃を令和7年度末まで指定管理者として指定している。施設の維持管理及び自主企画事業を実施するためには、指定管理者へ負担金を拠出する必要がある。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価) ○	公益財団法人セラミックパーク美濃は、施設の維持管理・運営を目的として平成11年度に設立され、平成14年度の施設会館以降委託業務受託者、指定管理者（平成18年度～）として、施設の維持管理、運営（施設及び附属施設設備の使用許可並びに利用料金の收受を含む）等を適切に行っている。 セラミックパークMINO指定管理者評価員会議においても、業務を適切に行っているとの評価を得ている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
(評価) ○	施設の維持管理経費は、本県と地元3市が一定割合に応じて負担しており県と地元自治体が密接に連携できている。また、行政負担金も指定管理制度導入以来、経費の見直し等により大幅に圧縮している。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入、長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力を、より一層高めていく必要がある。</p>	
---	--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

セラミックパークMINO（岐阜県現代陶芸美術館含む）」は、本県の地場産業であり、東濃3市（多治見市、土岐市、瑞浪市）の基幹産業でもある「美濃焼」をテーマに、産業振興及び文化振興の拠点として重要な役割を果たしてきている。今後も地元3市と連携し、施設を効果的に維持管理していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	